

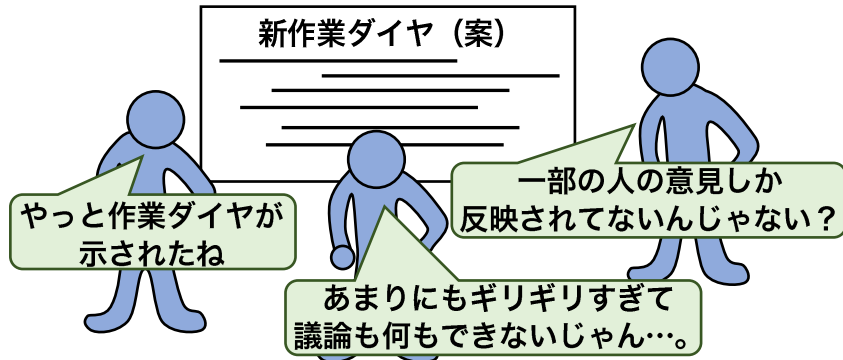


2月24日
東地申第57号

「2022年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ

【品川営業統括センター（その2）】提出！

品川駅：3月18日より車掌用 ITV 設置に伴い、15番線の乗降終了合図掲出見直しが行われています。



「社員と家族の幸福の実現」「持続的な成長」のためには

労使で認識を合わせ、現場社員が納得した上で進めていかななくてはならない！

<申し入れ項目>

1. 今回の施策で第8ホーム（15番線）の立番を廃止できる根拠を具体的に明らかにすること。また、今後立番を配置する時間を明確にし、その根拠を示すこと。
2. 品川駅における新作業ダイヤ（案）について2022年12月15日の施策提案日から、2023年1月30日に示されるまでの日数を要した理由を具体的に示すこと。また、営業統括センター内において、田町駅の新作業ダイヤ（案）と示されるまでの日数より大幅に日数を要していることについての理由を具体的に示し、施策提案後の新作業ダイヤ（案）については、提案後速やかに示すこと。
3. 新作業ダイヤ上発生する問題を解消すること。また、新作業ダイヤ作成する場合には社員の意見を反映させ安全作業で働きやすい、お客さまの安全・安心が担保される新作業ダイヤとすること。なお、社員の意見集約後の会社回答（変更の根拠等）については、これまでの会社回答と一貫性のある回答とすること。
4. 平日、夕通勤時間帯の山手線（内・外）、京浜東北線（南行）の立番配置についてはこれまで同様に配置し、立番を根拠無く廃止しないこと。また、朝・夕通勤時間帯の山手線・京浜東北線の情報拠点については第1ホーム事務室としてきた根拠を具体的に示すこと。なお2023年3月18日以降についても、平日の朝・夕通勤時間帯の山手線・京浜東北線の情報拠点については、第1事務室とすること。
5. 担務変更等を含んだ職場内OJT（見習い教育）については、十分な期間を担保し、新たな担務を担当する場合には職名を問わず、必ずOJT（見習い教育）を実施すること。また、これまで作業ダイヤを作成するにあたり、会社が根拠とした内容を遵守し運用を行うこと。
6. ホーム上の指定席券売機については、お客さまサービスの視点から発車時刻前直近1本の列車と限定とし、即売の機能を高めること。また、特急券の事前購入についての案内をお客さまに目立つよう行い、事前購入の逍遥を行うこと。
7. 近隣窓口の閉鎖に伴い、出札窓口の体制を強化すること。また、繁忙期等において波動対応が行える体制・設備とすること。
8. ライブプラットフォーム「バディコム」について、通信の機能性が悪く、安全作業に支障をきたしていることから、全社員のタブレット端末を5Gに対応したタブレット端末に至急変更すると同時に、駅内の通信機能も合わせて改修・改善すること。なお、変更・改修に時間を要する場合は、従前に使用していた「IP無線機」に置き換えること。

お客さまに安心してご利用いただける駅の実現と、

現場で働く仲間の不安を解消するため、団体交渉に臨みます！